



リチウムイオン電池の火災防止へ、回収と周知を強化！ 中之島信条クリーンセンターも対策強化で運転再開

全国でリチウムイオン電池が原因と思われる火災が多発しているなか、長岡市は、ごみ処理施設やごみ収集車の火災事故を防ぐため、リチウムイオン電池やリチウムイオン畜電池内蔵製品の分別収集を行っています。

事故を未然に防ぐため、新たに回収窓口の拡充と周知の強化の取り組みも始めました。

また、昨年 4 月に発生したリチウムイオン電池が原因と推察される火災により休止していた中之島信条クリーンセンターは、火災防止対策を強化したうえで 7 月 1 日から運転を再開します。

1 市有施設での回収拡充

現在、分別収集は月 2 回行っていますが、回収機会を増やすため、令和 6 年 11 月から環境衛生センターなどの市有施設での回収を開始しました。今年度、一部のコミュニティセンターとアオーレ長岡なども追加し、現在、次の 44 カ所で回収しています。利便性の向上に向け、窓口を順次拡充していきます。

施設名	回収時間	休館日
アオーレ長岡東棟 総合窓口	平日 8 時 30 分～17 時 15 分 土曜、祝・休日 9 時～17 時	日曜日 12 月 29 日～1 月 3 日
環境衛生センター、各支所	平日 8 時 30 分～17 時	土・日曜日、祝・休日、 12 月 29 日～1 月 3 日
トチオーレ（とちおコミセン）	平日 9 時～21 時 30 分 日曜、祝・休日は 19 時まで	月曜日（祝・休日の場合は翌日）、12 月 29 日～1 月 3 日
コミュニティセンター（31 カ所） 青葉台、王寺川、大島、太田、 大積、表町、上川西、川崎分館、 神田、希望が丘、阪之上、 下川西、四郎丸、新組、深才、 関原、千手、十日町、豊田、 中島、福戸、富曽亀、宮内、 宮本、六日市、山通、山本、 おぐに、寺泊、よいた、川口	平日 9 時～16 時  詳しい回収場所はこちら （市ホームページ）	土・日曜日、 祝・休日、 12 月 29 日～1 月 3 日

※家電量販店などの回収協力店でも店頭回収しています。

回収対象の小型充電式電池は、一般社団法人 JBRC 会員企業製の 3 種（ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池）。
膨張・変形がある電池や取り外しのできないものは市有施設へ。



回収協力店 ↑
（JBRC ホームページ）

2 正しい捨て方の周知

ごみの事故防止には、市民の皆さんの意識向上と理解が不可欠です。あらゆる機会を通して周知を図ります。

(1) ごみステーションに看板設置（令和7年9月予定）

リチウムイオン電池が使われている製品の具体的な品目のほか、膨張・変形した電池は窓口回収に持ち込むなど、正しい分別方法を明示した看板を、希望する町内会に配布・設置します。

(2) 回覧の主な内容（6月に町内会へ回覧済み。別紙のとおり）

- ・月2回の「スプレー缶類・発火物・有害物」の日に出す。
- ・透明または半透明の袋に入れて、口を結び「キケン」と表示する。
- ・金属端子部分にセロハンテープを貼り、絶縁する。
- ・電池を取り外すことができない小型家電製品は、そのまま袋に入れて出す。

3 中之島信条クリーンセンター不燃・粗大ごみ処理施設の運転再開

令和6年4月19日に発生した火災で稼働を休止していた中之島信条クリーンセンターの不燃・粗大ごみの処理を、7月1日から再開します。

火災の原因は、燃やさないごみに混入していたリチウムイオン電池と推察され、運転再開においては、管理体制や検知器の増設など火災防止策を強化しました。

(1) 運転再開日 7月1日（火）

(2) 復旧経費 約12億円（市有物件災害共済で対応）

(3) 火災防止策

① 管理運営

人員配置・安全管理マニュアルの見直し。火災・水害を想定した訓練の実施。

② 施設整備



温度センサーを4台追加
広範囲と局部的に温度上昇を検知。（発生防止強化）



炎検知器を2台追加
ベルトコンベアの裏側に配置（監視強化）



散水配管を4カ所追加
消火栓から延長放水管を設置（拡大防止強化）

問い合わせ： リチウムイオン電池に関すること

環境事業課 安達 電話0258-24-2837

中之島信条クリーンセンターに関すること

環境事業課 数間 電話0258-24-2838